

学校だより

令和6年8月29日



いちよう

目指す学校像

生徒一人一人の力が伸びる学校

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田1-1-1

TEL (048) 479-4052 FAX 482-0133

実りの秋に向かって

校長 石田 和男

立秋（8月7日）を過ぎ、暦の上では既に秋を迎えています。しかしながら、台風や局地的な大雨により、暑さは若干和らぐものの、依然として夏の暑さは厳しく、今年も最高気温や猛暑日の日数が更新されるなど、秋はまだ遠く、しばらくの間、残暑は続きそうです。

さて、夏休みが終わり、本日より2学期が始まります。心機一転で迎える2学期は、1学期からの成長の証をみせるチャンスが多い学期です。1年生はいよいよ中学生としての必要な力を真につけていく学期。2年生は、3年生から「責任」というバトンを受け継ぎ、学校の中心的な役割を担う力を見せていく学期。3年生は、合唱祭や体育祭等の大きな行事をはじめ、一つ一つが「最後の〇〇」という思いをもって悔いなく取り組むとともに、自分自身の進路と向き合い進路実現へと臨んでいく学期となります。それぞれの2学期を三中生が総がかりで力を合わせて創り上げていきましょう。特に、合唱祭、体育祭での皆さんの結束力、ベストパフォーマンスは楽しみです。

保護者並びに地域の皆様におかれましては、子供たちの様々な活動が実りの秋に結実いたしますよう、どうぞ2学期も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、夏休み前半は、100年ぶりにパリで開催されたオリンピックをテレビ視聴し、応援した人も多かったのではないのでしょうか。2大会ぶりに団体金メダルを獲得した男子体操。最終演技者は橋本大輝選手。3年前の東京五輪で、初出場ながら史上最年少で個人総合金メダル、種目別鉄棒金メダルの二冠に輝きました。東京五輪での団体金メダルとの差は0.103点。橋本選手は着地で少し足が動いただけで0.1点マイナスになるため、着地だけに特化した練習や基本的な体幹づくりまで、徹底的に行ったそうです。

しかし、東京五輪以来、どんな結果を残しても「内村以来」という枕詞がつき、次第に橋本選手は自分自身を見失ってしまいました。今年5月、右中指のケガが重なり、パリの直前まで思うように調整を積むことができませんでした。追い込まれた心では、「自分らしさ」を追求する事は難しい状態でした。

そして、迎えた今大会。種目別鉄棒で、橋本選手は磨き上げた着地で手をついてしまい、まさかの予選敗退。予選で不振を極めた翌日、苦しい胸の内を仲間に打ち明けたことをきっかけに、失いかけた自分らしさが少しずつ表情に戻ってきたようです。橋本選手はその翌日の団体あん馬でも落下。しかし、一緒に目標に向かって仲間に下を向く選手はいませんでした。3種目目のつり輪を終えると、橋本選手は、「結果はいらない。思い切ってやってきていいですか」とコーチ陣に求め、演技しました。最終種目は、2日前に失敗した鉄棒。しかも最終演技者。そのような状況の中、橋本選手は、技を次々と成功し、着地も決め、大逆転の金メダルを獲得しました。その背景には、「地道な練習の継続」「失敗しても、自分がなすべきことをやりきったこと」「自分が不調でも、周りの仲間が支え繋いで、一人一人が責任を果たし挑み続けたこと」などが考えられます。

～負けは失敗ではない。弱さを認めてこそ、人は強くなれる。～ 皆さんの心にも留めておいてください。

【新座市で震度5弱以上の場合】 ⇒ 原則として、授業を打ち切り、地震の状況を見極めながら、集団下校か近隣の小学校（兄弟引取のため）経由での下校となります。

8月8日に宮崎県で地震が発生したのを皮切りに、9日に神奈川県、19日には茨城県でも地震の発生がありました。久しぶりに緊急地震速報を聞いて、「もしかして」という不安な気持ちを持たれた方も少なくないのではないのでしょうか。

本校では2学期が始まる前に再度、全職員で災害時の危機管理体制の確認を行うとともに、明日避難訓練を実施して危機意識と災害時の行動力を高め、備えていきます。是非ご家庭でも災害時の動きや約束事などについて話し合ってくださいと思います。